

# U.S. Indicators

発表日: 2022年1月5日(水)

## 米国 供給制約が小幅改善(12月ISM製造業)

～インフレ圧力の高まりに歯止め～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

21年12月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、58.7(前月61.1)と前月比2.4%ポイント低下し、市場予想60.0(筆者予想59.8)を下回ったものの、高い水準を維持しており、米製造業が堅調さを保っていることが確認された。新規受注、受注残が高い水準を維持し需要の強さを示した。そのような中、入荷遅延が高い水準ながら低下したほか、雇用が上昇するなど供給制約の小幅改善が示された。また、仕入価格が大幅に低下しており、インフレ圧力の高まりに歯止めがかかった可能性が示された。

新型コロナウイルスのパンデミックによる労働者不足、原材料調達の制約、部品不足、雇用のミスマッチ、輸送能力不足、海外サプライチェーンの問題が米製造業の成長を抑制し続けているが、米製造業は力強い回復を続けている。

12月の企業からの報告では、引き続き多くの部門で、需要が強いなか、供給制約が問題となることが指摘された。問題点をみると、自動車部門では、半導体供給の制約が引き続き生産の妨げになっていること、プラスチック・ゴム製品では原料不足が指摘された。また、家具・同関連では人材・資材不足、輸送問題の継続が報告された。さらに、食品・飲料・タバコでは、労働力不足、サプライチェーンの問題、トラック不足の問題が継続しており、長時間労働を強いられていることが指摘された。

一方、一部で供給制約緩和の動きが指摘された。化学製品、加工金属では、サプライチェーンの問題がゆっくりとしたペースで改善しリードタイムの若干の短縮が報告されたほか、機械では、サプライヤーのパフォーマンスが向上し、予定通りの配達が可能になったことが指摘された。

先行きに関しては、新規受注が60.4(前月61.5)、受注残が62.8(前月61.9)と内外需の回復を背景に高い水準を維持したほか、在庫が54.7(前月56.8)と部品不足による未完成品の増加等によって押し上げられているが在庫不足の状態が続いていることから、米製造業部門の力強い回復が継続すると見込まれる。

12月は、全18業種のうちアパレル・皮革、家具・同関連、繊維、プラスチック・ゴム、一般機械、非鉄、その他製造業、化学製品、電気設備・部品、加工金属、コンピューター・電子機器、食品・飲料・タバコ、輸送機器、一次金属、石油・石炭の15業種(前月13業種)が拡大し、前月より増加、多くの業種が拡大を続けている(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。主要6業種では、化学製品、加工金属、コンピューター・電子機器、食品・飲料・タバコ、輸送機器、石油・石炭の順に、力強くから緩やかに成長した。縮小した業種は木材製品、印刷・関連サポート活動、紙製品の3業種にとどまった(11月2業種)。

12月の構成項目別の変化では、雇用が上昇した一方、入荷遅延、生産、在庫、新規受注が低下し



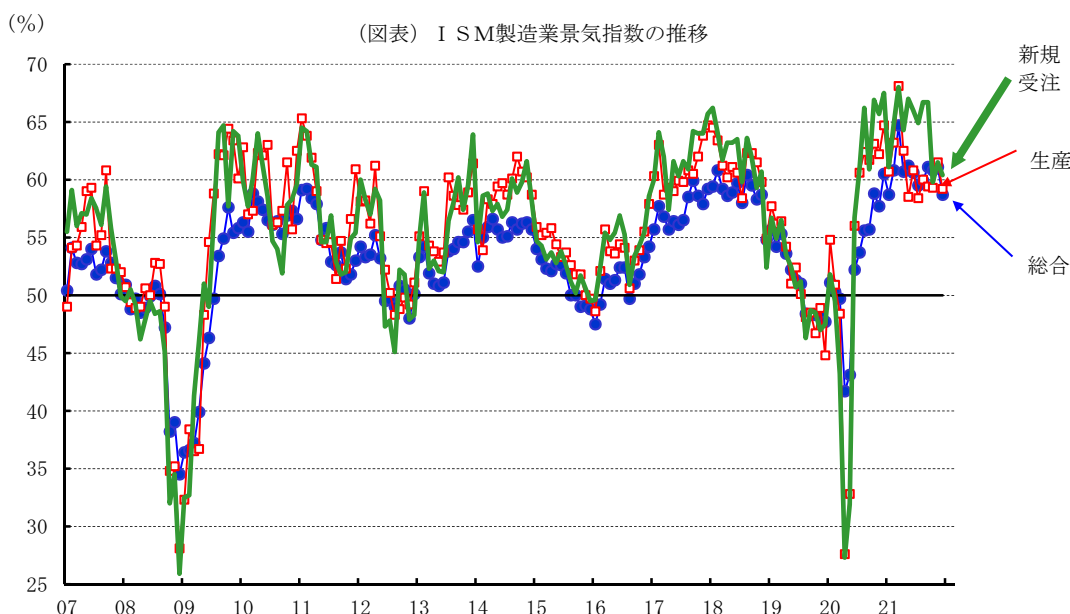
た。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.18%pの押し上げ寄与となった一方、入荷遅延が前月比▲1.46%p、生産が前月比▲0.46%p、在庫が前月比▲0.42%p、新規受注が前月比▲0.22%pの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、輸出受注D Iが53.6（前月54.0）と低下したが、50を上回った水準で上昇・低下を繰り返しており米国輸出の回復傾向の持続を示している。また、輸入D Iは53.8（前月52.6）と港湾施設でのボトルネックの緩和方向への動きもあり、小幅上昇した。新型コロナウイルスのパンデミックが続くなか、内外需要の回復によって貿易量が増加していることが示された。

一方、仕入価格指数が68.2（前月82.4）と大幅に低下し、インフレ圧力緩和の兆しが見られた。今後、供給制約の緩和による需給バランスの改善、輸送コストの低下を背景に、インフレ圧力の漸進的な緩和が予想される。

## I S M製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
21/01	58.7	61.1	60.7	52.6	50.8	68.2	59.7	82.1	54.9	56.8
21/02	60.8	64.8	63.2	54.4	49.7	72.0	64.0	86.0	57.2	56.1
21/03	64.7	68.0	68.1	59.6	50.8	76.6	67.5	85.6	54.5	56.7
21/04	60.7	64.3	62.5	55.1	46.5	75.0	68.2	89.6	54.9	52.2
21/05	61.2	67.0	58.5	50.9	50.8	78.8	70.6	88.0	55.4	54.0
21/06	60.6	66.0	60.8	49.9	51.1	75.1	64.5	92.1	56.2	61.0
21/07	59.5	64.9	58.4	52.9	48.9	72.5	65.0	85.7	55.7	53.7
21/08	59.9	66.7	60.0	49.0	54.2	69.5	68.2	79.4	56.6	54.3
21/09	61.1	66.7	59.4	50.2	55.6	73.4	64.8	81.2	53.4	54.9
21/10	60.8	59.8	59.3	52.0	57.0	75.6	63.6	85.7	54.6	49.1
21/11	61.1	61.5	61.5	53.3	56.8	72.2	61.9	82.4	54.0	52.6
21/12	58.7	60.4	59.2	54.2	54.7	64.9	62.8	68.2	53.6	53.8



(出所) I S M

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

